

日立エコキュートの対象機種導入で 給湯省エネ2024事業の補助金を受けられます!

給湯省エネ2023事業から補助額が大幅にアップ!!
省エネ性能の高いエコキュート購入のチャンスです。

※給湯省エネ2023事業の補助額は一律 5万円/台。

最大 18万円/台

基本額	8万円/台
A	10万円/台
B	12万円/台
A + B	13万円/台

追加措置 下記機器を撤去する場合

電気温水器からの買い替え

5万円/台
(上限2台まで)

※詳細は裏面を参照

日立エコキュート
ナイアガラ出湯
水道直圧給湯



※システム写真はBHP-FV37WDです。
貯湯ユニットの写真は、脚カバー(別売)装着品です。

■給湯省エネ2024事業 エコキュートに関する補助金制度の概要

対象製品の概要	基本:2025年度省エネ基準達成製品 A:基本+インターネットに接続可能な機種で、翌日の天気予報や日射量予報に連動することで、昼間の時間帯に沸き上げをシフトする機能を有するものであること B:基本+補助要件下限の機種と比べて5%以上CO ₂ 排出量が少ない機種 (2025年度の目標基準値(JIS C 9220 年間給湯保温効率または年間給湯効率(寒冷地含む))+0.2以上)
予算総額	580億円(他の高効率給湯器との総額)
対象期間	2023年11月2日以降工事着工分から 申請・完了報告2024年12月末まで(予定) ※ただし予算が無くなり次第終了
申請手続き	事業者等が代行申請し、事業者の口座に振り込まれ、消費者に還元 (事業者はアカウント登録が必要)

詳しくは、こちらをご覧ください。

令和5年度補正「高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー
推進事業費補助金」について(資源エネルギー庁)



給湯省エネ2024事業 日立エコキュート対象製品 (2023.12.22現在)

補助額	要件内容	日立エコキュート対象機種の説明
基本	8万円/台	省エネ法に基づくトップランナー制度における目標年度2025年度省エネ基準を満たす機種
A	10万円/台	省エネ基準達成率 100%以上の機種 (達成率 99%以下の機種は対象外)
B	12万円/台	基本の要件を満たし、且つ日立エコキュートアプリが使用できる機種にWLAN接続用アダプターを設置した場合。(薄型タンクは対象外)
A+B	13万円/台	省エネ基準達成率 105%以上の機種
A+B	13万円/台	基本+A+B全ての要件を満たす機種

追加措置
下記機器を撤去する場合

電気温水器

+

5万円/台
(上限2台まで)

2023年度発売(Wシリーズ)補助金対象製品

タイプ(一般地仕様)	システム型式	年間給湯保温効率 (JIS)*1 JIS C 9220:2018	目標年度2025 省エネ基準達成率	給湯省エネ事業対象			補助金 合計額
				基 本	A	B	
[水道直圧給湯]フルオート 標準タンク(高効率)	BHP-FV46WD	4.1	117%(区分E)	●	●※1	●	13万円/台
	BHP-FV37WD	4.2	120%(区分E)	●	●※1	●	
[水道直圧給湯]フルオート 標準タンク	BHP-F46WD	3.5	100%(区分E)	●	●※1	—	10万円/台
	BHP-F37WD	3.5	100%(区分E)	●	●※1	—	
[水道直圧給湯]フルオート 標準タンク(耐塩害仕様)	BHP-F46WDE	3.5	100%(区分E)	●	●※1	—	
	BHP-F37WDE	3.5	100%(区分E)	●	●※1	—	
フルオート 標準タンク (高機能)	BHP-FR46WU	3.5	100%(区分E)	●	●※1	—	
	BHP-FR37WU	3.5	100%(区分E)	●	●※1	—	
フルオート 標準タンク (FGタイプ)	BHP-FG46WU	3.5	100%(区分E)	●	●※1	—	8万円/台
	BHP-FG37WU	3.5	100%(区分E)	●	●※1	—	
フルオート 標準タンク (薄型タンク)	BHP-FS46WH	3.0	100%(区分I)	●	—	—	8万円/台
	BHP-FS37WH	3.0	100%(区分I)	●	—	—	

タイプ(寒冷地仕様)	システム型式	寒冷地年間給湯 保温効率(JIS)*1 JIS C 9220:2018	目標年度2025 省エネ基準達成率	給湯省エネ事業対象			補助金 合計額
				基 本	A	B	
[水道直圧給湯]フルオート 標準タンク(寒冷地仕様)	BHP-F46WDK	3.1	106%(区分F)	●	●※1	●	13万円/台
	BHP-F37WDK	3.2	110%(区分F)	●	●※1	●	
[水道直圧給湯]フルオート (高硬度水道水・井戸水対応) 標準タンク(寒冷地仕様)	BHP-FW46WDK	3.0	103%(区分F)	●	●※1	—	10万円/台
	BHP-FW37WDK	3.1	106%(区分F)	●	●※1	●	13万円/台
フルオート 標準タンク (寒冷地仕様)	BHP-F46WUK	3.1	106%(区分F)	●	●※1	●	
	BHP-F37WUK	3.2	110%(区分F)	●	●※1	●	

*1 年間給湯保温効率(JIS)、寒冷地年間給湯保温効率(JIS)は、JIS C 9220:2018に基づき算出した値です。
※1 別売のWLAN接続用アダプター(BH-WLAN-W 希望小売価格25,300円(税込))を設置した場合に対象となります。

2022年度以前に発売した製品については、住宅省エネ2023キャンペーン公式ホームページの「対象製品の検索」にてご確認ください。
<https://jutaku-shoene2023.mlit.go.jp/manufacture/search/product/high-efficiency-water-heater-ec/HGL>



家庭用ヒートポンプ給湯機は、省エネ法トップランナー基準の対象製品です

エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)施行令(トップランナー関連)の一部が改正されました。2021年6月に2025年度を目標年度とした基準エネルギー消費効率が、想定世帯、貯湯缶数、貯湯容量、仕様により、10の区分で定められました。右記の表は日立エコキュートが該当する区分を抜粋しています。

〈2025年目標年度省エネ基準について〉 目標基準値 JIS C 9220:2018による

区 分					基準 エネルギー 消費効率
区分名	想定世帯	貯湯缶数	貯湯容量	仕 様	
E	標準	一 缶	320L以上 550L未満	寒冷地仕様以外のもの	3.5
F				寒冷地仕様	2.9
G			550L以上	寒冷地仕様以外のもの	3.2
H				寒冷地仕様	2.7
I		二 缶	—	寒冷地仕様以外のもの	3.0